

令和6年6月20日

コンパスグループ・ジャパン株式会社 御中



顛末書

謹啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。この度ご使用頂きました「菜の花に虫混入」の件につきましては、貴社にご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。遅くなりましたが、原因調査と再発防止対策を講じましたので下記の通りご報告申し上げます。

謹白

記

1. 製品概要

- (1) 商 品 名 : 菜の花
- (2) 規 格 : 500g×24
- (3) 発 生 日 : 2024年5月24日
- (4) 発 生 店 舗 : 39144 弓削商船学寮店様
- (4) 賞 味 期 限 : 2025年6月21日、2025年7月30日
- (5) ご 指 摘 事 項 : 製品に虫の付着が発見された



【お申し出品画像】

2. 製造工程

原料検収→風力選別→振動選別→ローラー選別→目視選別→洗浄→ブランチング→カット→目視選別→洗浄→ブランチング→冷却→水切り→凍結→半製品包装→入庫→半製品出庫→選別→計量、袋詰め、シール→金属探知機(Fe 1.5 mm/Sus 2.0 mm)→X線検知機→ケース詰め→保管

3. 原因調査

ご返却いただきました現物を確認いたしました。当該異物は、前方が黒く色がついているように見えました。その外観的特徴より「コナガの幼虫」の一種であると推測いたしました。



【拡大画像】



【コナガの幼虫参考画像】

菜の花によくある害虫の例にコナガが挙げられており、幼虫が菜の花の葉を食害することが知られています。気温が上がる春頃から発生が始まり、冬までに世代交代をくり返して複数回発生します。

当該商品製造にあたっては、原料受け入れ時には細部まで検品を行っております。しかし、目視選別で、一部の原料に対して目の届かなかった場合や選別後の洗浄においても脇芽の部分にしっかり入り込んだものを除去しきれないことも考えられました。

これらのことより、今回のお申し出の原因としましては、原料収穫時に原料に付着・混入した虫が芽の脇の部分などに隠れて除去されないまま工場に搬入され、搬入後の洗浄や選別工程においても、完全に発見・除去することができず、最終製品に残存するに至ったものと推察いたしました。

4. 今後の対策

今回のお申し出を受け、下記対策を講じることにより再発防止に努めて参ります。

- ① 今回の事例を農家と工場関係部署に申しに伝え、厳しく注意喚起いたしました。また、現物画像を工場内に掲示するとともに、品質管理担当者が検品チェックの重要性についてくり返し説き、意識の昂揚を図るべく指導を強化して参ります。
- ② 圃場周辺環境の雑草が虫の発生源になる可能性が考えられますので、今年の新物の収穫に向けては除草作業の強化を実施して参ります。これまでは冬期間中、各農家の自主的な除草作業を行って参りましたが、月に1度の頻度で定期的に行うことといたします。
- ③ 当該ロットの原料入荷時にて、雨の影響で濡れた原料に風力選別機が十分機能しなかった可能性も考えられるため、可能な限り晴れの日での原料収穫・搬入を実施するよう原料関係者に指示致しました。

(①対策については6月20日より実施、②③については2025年収穫時期*2月頃より*実施)

以上の通りでございますが、食材を供給する側と致しまして事の重大性を認識し、再びこの様事態を起こさない様に今後、努力致しますので、何卒事情を賢察賜り、ご寛大なるご処置を賜りますようお願い申し上げます、併せて今後ともご指導ご愛顧伏してお願い申し上げます。

以上